

# 全国学力・学習状況調査の結果まとまる

# 小、中学生の学力は主要2教科で高いレベル

今年4月、全国で実施した文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果、東川町の児童、生徒は読書が好きで、主要2教科の国語、算数・数学各教科いずれも全国の平均レベルより理解度が上回っていることが分かりました。

町内の小学6年生（4校、73人）

と中学3年生（1校、69人）を対象にして実施調査しました。小、中学生ともに、教科全体で全国、全道平均を上回っています。小学生は総じて国語教科の理解度が平均を上回り、中学生は数学教科の理解度が上回っています。

学校への質問項目では、小学校では「資料を使って発表が出来るように指導している」「学校全体の学力や課題について全教職員で共有している」の各項目で全国、全道平均に比べて対応が伸展しています。

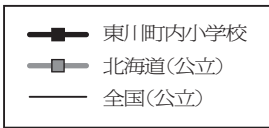
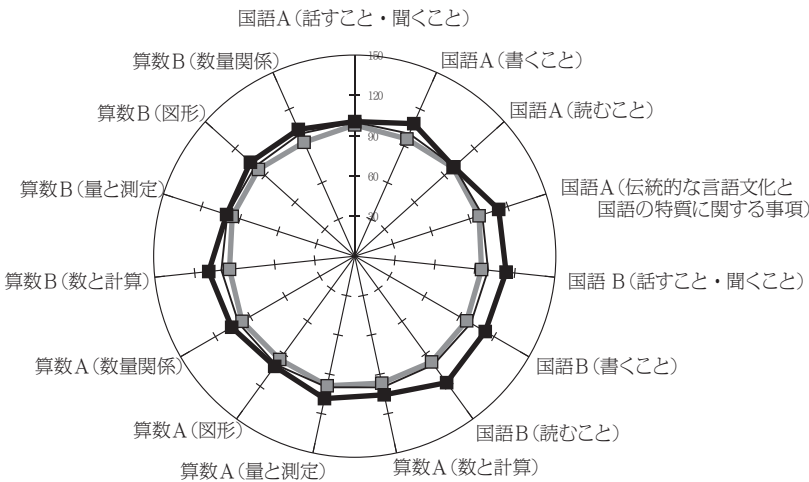
中学校では、「国語教科で漢字、語句など基礎的事項を定着させる授業を行った」「生徒自身で課題をまとめて表現するなど、学習活動を学ぶ研修をしている」の両項目で全国、全道に比べて進展がみられました。町教委では学習支援員制度の導入、

各学校で実施している朝読書、読み聞かせ、学校図書館の活用が児童、生徒の理解度伸展に奏功している、と分析しています。

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

### 東川町内小学校の状況



### 東川町内中学校の状況

